

◎2019年度 立教SFR大学院学生研究 採択一覧 (2019.7.5差替版)

単位：千円

採択番号	申請番号	組織	専攻	課程	研究代表者	指導教授	課題名	採択金額
1	1	個人	教育学	M 2	岩佐 菜々子	秋葉 昌樹	子どもの逸脱をどう理解するか：幼稚園年少級における「気になる子」の相互行為分析を通して	200
2	2	個人	教育学	D 4	今井 聖	秋葉 昌樹	教育問題としての子どもの自殺に関する社会学的研究	200
3	3	個人	ドイツ文学	M 2	藤原 匠	井出 万秀	「語りを伝える技法」ードイツ語接続法による各引用パターンの用法の解明	200
4	5	個人	史学	D 1	王 尊龍	四日市 康博	近世琉球における渡唐使節の応制詩について	200
5	6	個人	英米文学	D 1	諸岡 友真	新田 啓子	James Baldwin, <i>Tell Me How Long the Train's Been Gone</i> の黒人音楽表象における身体感覚	200
6	8	個人	日本文学	D 3	泉 溪春	石川 巧	1950年代における「戦争」表象——「第三の新人」を視座として	200
7	9	個人	英米文学	D 1	萱場 千秋	新田 啓子	William Faulkner, <i>Go Down, Moses</i> における南部農園システムの分析	200
8	10	個人	教育学	M 2	日向 悠太	河野 哲也	教えることをどうゲームプレイするかースーツにおけるゲームと教えることの哲学ー	200
9	12	個人	経済学	M 2	石田 航一	首藤 若菜	パートタイマーの賃金決定要因に関する実証分析ー2000年代における最低賃金との関係性ー	100
10	13	個人	経済学	M 2	埴 枝里子	荒川 章義	高校生の行動経済学的特性に関する研究：ジェンダー差に着目して	100
11	14	個人	社会学	M 3	水上 亮	木村 自	都市農業の衰退に対する都市農家の対応——多様なアクターの存在に着目して	100
12	15	個人	社会学	D 2	齋藤 公子	小倉 康嗣	2010年代後半に「肺がんⅣ期」を生きるとはいかなることか：患者たちの語りから	170
13	16	個人	社会学	D 2	吉田 静	小倉 康嗣	漁船漁業の近代化と困難の経験史：三陸の突棒漁に従事してきた漁師のライフストーリー	130
14	17	個人	法学政治学	D 3	宮内 悠輔	小川 有美	地域主義政党は排外主義とどのように向き合うか——90年代ベルギーの事例研究	200
15	18	個人	観光学	M 2	篠原 久仁子	門田 岳久	伝統野菜と科学技術の種をめぐる民俗学的研究 蓼科高原における農家の暮らしに注目して	200
16	19	個人	観光学	D 3	鍋倉 咲希	高岡 文章	観光化するコミュニティ——ゲストハウスにおける観光者の交流をめぐる社会学的研究	200
17	20	個人	コミュニティ福祉学	D 3	大山 典宏	木下 武徳	生活保護制度における裁量基準の多様性とその統制に関する研究	200
18	21	個人	コミュニティ福祉学	D 1	松長 大祐	石渡 貴之	運動様式の差異による生理指標、情動行動及び脳内神経伝達物質の変容解明	200
19	22	個人	臨床心理学	D 2	柴原 早紀	林 もも子	母親の自己愛的脆弱性とアタッチメントの関連	200
20	23	個人	心理学	D 1	宮川 えりか	小口 孝司	リハビリ経験が就労者のwell-beingおよび仕事パフォーマンスに及ぼす影響の検討	200
21	24	個人	ビジネスデザイン	D 3	小野 美和	亀川 雅人	資本市場における社会的正当性と共感～ESG投資拡大の背景～	200
22	25	個人	異文化コミュニケーション	D 2	中野 悠稀	森 聡美	Anaphora resolution in Japanese-English bilingual adults	190
23	26	個人	言語コミュニケーション	D 2	村松 直子	高橋 里美	「断り」場面における日本人の認知と配慮表現についての質的・量的調査研究	200
24	27	個人	キリスト教学	M 3	川越 菜都美	廣石 望	『ヤコブ原福音書』におけるマリアー周辺諸宗教の女性表象との関連をめぐってー	200
25	28	個人	物理学	D 2	彌永 亜矢	小林 努	一般相対論を最小限に修正した重力理論が現在の宇宙を説明する可能性の探究	500
26	30	個人	化学	D 1	西野 龍平	箕浦 真生	トリプチル骨格を活用した重いアルキン類の創製	420
27	31	個人	物理学	D 1	飯澤 正登実	中野 祐司	極低温静電リングと中性ビームの合流実験による星間分子反応ダイナミクスの研究	280
28	32	個人	物理学	D 2	中司 桂輔	原田 知広	超高速回転天体への降着問題の解析	300
29	33	個人	物理学	M 2	日暮 凌太	内山 泰伸	Super Bubble・Local Bubbleにおける宇宙線加速機構の解明	300
30	34	個人	化学	D 1	有馬 弘晃	和田 亨	四重架橋二核錯体を用いた高活性な小分子還元触媒系の構築	500
31	36	個人	数学	D 2	石原 侑樹	横山 和弘	モジュラー技法を用いた計算機代数の新しい理論とアルゴリズムの構築	200

合計 31名【D:22名 M:9名】